

平成31年度使用小学校教科書

選定資料

図画工作編

平成30年6月

愛知県教育委員会

図画工作

【目 標】（学習指導要領より抜粋）

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

＜学習指導要領解説における改善のポイント＞

ア 表現や鑑賞の活動を通して、自らつくりだす喜びを味わうようにするとともに、感性や想像力、手や体全体の感覚などを働かせながら造形的な創造活動の基礎的な能力を高め、生活や社会と主体的にかかわる態度を育て、豊かな情操を養うための工夫がされているか。

【あいちの教育の基本理念】（「あいちの教育ビジョン2020」より）

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現

教科書選定の観点・着眼点（図画工作）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容	(1) 内容の選択 ア 図画工作科の目標に合わせて内容が適切に選ばれているか。 イ 表現と鑑賞の関わりが十分考慮されているか。 ウ 我が国の伝統や文化、現代の社会生活の変化や今日的課題などについて配慮されているか。 エ 地域性への配慮がなされているか。 オ 他教科等との関連を考慮して、適切に選ばれているか。
	(2) 内容の程度 ア 学年の発達段階に照らして、内容が適切であるか。 イ 児童の生活経験や興味について考慮されているか。 ウ 一般的な施設や設備の学校で扱えるように配慮されているか。 エ 児童の発想に対応できる多様な表現や材料や道具の扱いについて配慮されているか。
	(3) 内容の構成 ア 内容が発展的、系統的に組織立てられているか。 イ 各内容の分量や配列、関連付けが適切であるか。 ウ 作品や図版、写真などの分量や配列、配合が適切であるか。 エ 季節、行事との関連が必要に応じて適切に考慮されているか。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	ア 文章は簡明、具体的で理解しやすいか。 イ 作品や図版、写真などは本文との適切な関連付けがされており鮮明であるか。 ウ 目次や索引、注、凡例、諸表、資料などは利用しやすいか。 エ 作品や図版、写真などに適切な説明がされているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、紙質や厚さ、彩色、光沢などが適切であるか。 イ 表紙や裏表紙などの装丁が適切であるか。 ウ 造本は堅ろうであるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 基礎的な技能や知識を身に付け、発想力や構想力を高め、手や体全体の感覚を働かせながら作品を製作し、学習を振り返ることができるよう編集されている。</p> <p>ア 作家や作品を通して、生活や社会と関わりながら、感受性を高め、豊かな情操を養うことができるよう編集されている。</p>
116 日 文	<p>ア 製作する喜びを味わうことを大切にして、手や体全体の感覚を働かせながら、発達段階に応じた造形的な創造活動の基礎・基本を習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 身近な生活や社会と主体的に関わりながら、感受性を高め、豊かな情操を養うことができるよう編集されている。</p>

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 日本の美術作品に加え、和の形や色、伝統技術を資料として取り上げ、豊かな文化を継承し、創造活動に生かすことができるような工夫が見られる。</p> <p>ア 鑑賞資料「小さな美術館」「ゆめをかたちに」で、国内外の作品や多様な表現方法の作品を紹介して、世界に視野を広げられるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>ア 日本の美術作品に加え、和の形や色、伝統技術を資料として取り上げ、豊かな文化を継承し、創造できるような工夫が見られる。</p> <p>ア 鑑賞資料「教科書美術館」で国内外の作品を取り上げ、高学年では、文化の違いに着目することで、世界に視野を広げられるような工夫が見られる。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容 (1) 内容の選択	<p>ア 図画工作科の目標に合わせて内容が適切に選ばれているか。</p> <p>イ 表現と鑑賞の関わりが十分考慮されているか。</p> <p>ウ 我が国の伝統や文化、現代の社会生活の変化や今日的課題などについて配慮されているか。</p> <p>エ 地域性への配慮がなされているか。</p> <p>オ 他教科等との関連を考慮して、適切に選ばれているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 具体的な作品や活動の例を示し、自主的・主体的な活動の中から、造形的な発想や創造ができるように構成されている。</p> <p>イ 「小さな美術館」「ゆめをかたちに」など、児童の発達段階にあわせた鑑賞資料が示され、作家の思いと材料や表現方法との関連が分かるように工夫されている。</p> <p>ウ 身近材や自然素材を利用した題材を取り上げ、環境への配慮がされている。「みんなのギャラリー」では、日本の伝統的な文化や様々な技法が紹介されている。</p> <p>エ 各地域での特色ある活動を取り上げ、環境を生かした造形活動ができるよう配慮されている。</p> <p>オ 生活科や中学年及び高学年の総合的な学習の時間などに関連させ、造形を通したコミュニケーション活動が提案されている。</p>
116 日 文	<p>ア 児童の具体的な活動場面を取り上げた写真が多く掲載され、多様な造形活動が展開できるように構成されている。</p> <p>イ 鑑賞資料「図画工作の広がり」の中に、様々な鑑賞活動の方法が示され、話し合ったことを表現活動に生かせるよう工夫されている。</p> <p>ウ 見開きの目次や「ぞうけいのもり」では、自然の美しさ、日本の伝統文化や技術、ユニバーサルデザインなど多様な造形に目を向けられるよう配慮されている。</p> <p>エ 題材について多様な素材や表現方法の例を示し、各学校や地域に応じた扱いができるよう配慮されている。</p> <p>オ 国語科・生活科などの他教科や総合的な学習の時間と関連させ、造形を通したコミュニケーション活動が提案されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容 (2) 内容の程度	ア 学年の発達段階に照らして、内容が適切であるか。 イ 児童の生活経験や興味について考慮されているか。 ウ 一般的な施設や設備の学校で扱えるように配慮されているか。 エ 児童の発想に対応できる多様な表現や材料や道具の扱いについて配慮されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	ア 児童の発達段階に応じた学習のねらいや具体的な活動、使用材料などが考慮されており、系統性をもった題材で構成されている。 イ 児童の生活体験に関連した材料を取り上げ、学級の友達や地域と関わることができるよう配慮されている。 ウ 身の回りにある施設や設備、自然を多く取り入れた内容が掲載され、どの学校でも扱えるよう配慮されている。 エ 児童がその学年で出会う材料や用具、表現方法を紹介した資料が掲載されており、多様な表現方法を引き出せるよう工夫されている。
116 日 文	ア 題材の工夫や、中学校とのつながりを踏まえるなど、児童の発達段階に応じて活動内容に配慮した題材で構成されている。 イ 身近な自然や風景などから捉えた形や色を数多く取り上げ、豊かにイメージが膨らむように配慮されている。 ウ 身の回りの自然や身近な自然材料を積極的に取り入れ、学校や地域の特性に対応できるよう工夫されている。 エ 多様な活動事例が紹介され、自分の発想に自信をもって表現方法を選択できるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
3 内容 (3) 内容の構成	ア 内容が発展的、系統的に組織立てられているか。 イ 各内容の分量や配列、関連付けが適切であるか。 ウ 作品や図版、写真などの分量や配列、配合が適切であるか。 エ 季節、行事との関連が必要に応じて適切に考慮されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	ア 学習のねらいや使用材料などが発達段階を考慮して配列され、多様な素材や技法を取り入れた造形活動ができるよう工夫されている。 イ 各分野・領域ごとに内容の分量や配列が学年ごとに考慮され、6年間を通して系統的な学習ができるよう工夫されている。 ウ 参考作品が数多く掲載され、材料や技法などを確認しながら、学習内容を理解して製作できるよう、配列が工夫されている。 エ 「みんなのギャラリー」で伝統工芸や屋外展示が取り上げられ、学校や地域の実状にあわせて対応できるよう構成されている。
116 日 文	ア 児童の発達段階に応じて題材を選択したり、中学校の美術科との関連を図ったりするなど、学習内容の系統性を意識して構成されている。 イ 1年間を見通して題材が適切に配列されており、児童が無理なく造形活動が行えるよう工夫されている。 ウ 児童の作品を豊富に掲載し、活動の様子が分かる写真やコメントを加えることで、学習の内容が捉えやすくなっている。 エ 四季から受けるイメージを使った題材を取り上げ、季節感を意識しながら製作できるよう配慮されている。

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び 使用上の便宜等	<p>ア 文章は簡明、具体的で理解しやすいか。</p> <p>イ 作品や図版、写真などは本文との適切な関連付けがされており鮮明であるか。</p> <p>ウ 目次や索引、注、凡例、諸表、資料などは利用しやすいか。</p> <p>エ 作品や図版、写真などに適切な説明がされているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	<p>ア 題材名や主文に児童の心を捉える工夫が見られ、学習のねらいが分かりやすく振り返りも具体的に示されている。</p> <p>イ 作品や写真などの大きさやレイアウトが見やすく、児童の作品や展示風景が多く掲載され、創造性を培えるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各題材を通して育てたい力が三つのマークで表示され、基礎・基本となる内容や児童の主体的な表現や工夫を囲みで示すなど分かりやすく表記されている。</p> <p>エ 作品や写真に題名・表現材料にあわせて、児童の思いや表現方法が簡潔に記述され、相互鑑賞をする際の手だてとなるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア 学習のねらいの具体的な記述や導入文の工夫などにより、表現活動の意欲を促すとともに、学習内容を十分理解できるよう配慮されている。</p> <p>イ 児童の学習活動の流れを表す写真が数多く取り入れられ、児童の興味や意欲を引き出す工夫がされている。</p> <p>ウ 学習の内容や主な用具がマークで表示されている。また、発想や鑑賞のきっかけとなる内容を吹き出しにして、主体的に学ぶことができる構成となっている。</p> <p>エ 作品や写真に題名や表現材料を付けるとともに、思いや気付き、表現方法などが児童の視点で掲載され、親しみやすい構成となっている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、紙質や厚さ、彩色、光沢などが適切であるか。 イ 表紙や裏表紙などの装丁が適切であるか。 ウ 造本は堅ろうであるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
9 開 隆 堂	ア 良質の再生コート紙を使用し、見やすさに配慮して光沢を抑え、写真の内容や作品の質感などが分かるような印刷がされている。 イ 表紙には発想豊かな児童作品やタイトル、裏表紙には造形と生活とのつながりや、形や色に注目させる写真が鮮明に印刷されている。 ウ 綴じ方が丁寧で、堅ろうな造本になっている。
116 日 文	ア 良質の再生コート紙を使用し、適度な光沢をもち、全体的に明るく落ち着いた柔らかな色調で印刷されている。 イ 表紙には児童の表現意欲を高めるような児童作品、裏表紙には作品に込められた児童の思いの紹介と形や色を楽しむコーナーがバランス良く配置されている。 ウ 細かい糸目の綴じ方で、開きやすく堅ろうな造本になっている。

